

# 第2回有識者会議の主なご意見

---

令和8年1月  
観光圏の機能強化に係る有識者会議  
～国内外旅行者の2泊3日以上滞在の促進に向けて～

## 「地域ブランドの確立・磨き上げ」「コンテンツ・商品企画、販売、プロモーション」について

- 地域ブランドを体感でき、2泊3日以上の滞在につながる滞在コンテンツ・プログラムを造成することが観光圏の意義であり、地方観光のニーズが高まっている時期だからこそ、観光圏の仕組みを新しい視点で活用していくことが肝要であると考える。
- マネージャーステップアップ研修で視察を行った際に、地域のストーリーが伝わらないことがあった。コンセプトを再度検討した上で、コンセプトをベースにしたコンテンツ作りや評価体系等を考えていくべきではないか。
- 地域ブランドがプロダクトアウト型になっており、地域以外では知られていないため、マーケットインの考えで、旅行者の琴線に触れ、2泊3日以上滞在したいと思う地域ブランドしていく必要がある。
- コンセプトと実態が異なることを自覚している観光圏もあるものの、そういった地域は地域内で議論する機会がないと聞いている。こうした議論の場に有識者が関与する機会を作った方がよいのではないか。
- 地域ブランド、コンセプトの用語については、区別して考えるべき。
- 地域ブランドというよりは、地域が何を大切に商品設計していくのかを立ち返るコンセプトとして考えるとよいのではないか。地域が意思を持って掲げていく方針として認識されるものになるとよい。

## 「観光地域づくりプラットフォーム」「マネージャー制度」について

- プラットフォームがこうあるべきだという点が分からぬまま取り組んでいる可能性があるので、国側のバックアップがあるのはありがたい。
- 尖った取組を行うとついていけない事業者がでてくるが、各観光圏のプラットフォームを通じてサポートするなど、事業者に対してフォローしていくかないと観光圏の拡大につながらないのではないか。
- 事業の承認を取るような会議はあるが、プレーヤーが深く議論する場を設置している観光圏はあまりない。現地で議論する機会がないことで、取組を改善できないという負のスパイラルに陥っているのではないか。
- 地域活性化を支援する上では、熱意のある方を中心としたチームを作り、熱意を広げていく環境づくりが重要となる。地域の媒介となる役割を自治体が担うと、事業者もついていきやすくなるのではないか。現地訪問等で定期的に関与し、熱意が薄れないようなサポートが入るとよいと思う。
- プラットフォームについては、民間を中心とした体制構築まで踏み込まないと、いいコンセプトがあっても地域のコンテンツづくりに繋がっていない可能性がある。
- DMOと観光圏の違いは、DMOは今売れる花（コンテンツ）を探すことで、観光圏はタネとなる地域の資源を見つけ、それをどのように花を開かせるか考えていくことのように思う。時間がかかるのが観光圏であることを理解してもらうことが重要だと思う。プラットフォーム職員の学び直しも同時に必要ではないか。
- 2~3年で人材がローテーションすることがあるが、国の施策として、観光圏に関わる地域の人材が観光圏制度を学ぶ機会を創出することが重要だと思う。
- マネージャーステップアップ研修を各地域で開催することで、マネージャーは他の地域の取組を知り、刺激を受けることでモチベーションアップに繋がっている。
- 全国観光圏推進協議会の体制と財源が厳しい状況であり、マーケティング調査程度しか機能していないため、国の支援を検討いただきたい。

## 「調査・計画、目標設定」「受入環境整備・特例措置」について

- KPI に 2 泊 3 日以上の割合を入れるのは必須であり、観光圏としての取組の成果を見るために、変化率を見ることが重要である。
- 2 泊 3 日以上の KPI は DMO でも設定可能であり、観光圏が意図するところでの 2 泊 3 日以上の達成であるかが重要である。ブランドコンセプトとマネージャー制度が観光圏の特徴だとするならば、それらに関連するものを設定しないと施策の評価にならず、ブランドの認知度やマネージャーを中心とした体制のレベル感を問うものをゆくゆくは設定していく必要があるのではないか。
- KPI は、観光圏間を比較するものではなく、各観光圏でこれまでの取組を通じてどのような成果が生まれているか地域が見極めることができる点が重要だと考えている。
- DMO でも新たな KGI・KPI の検討に悩んでいる地域が多いと聞く。観光圏が DMO としても登録されていることを考慮し、必須 KPI に観光圏・DMO 共通のものを設定し、任意に設定する KPI に、2 泊 3 日等の観光圏特有の KPI を設定するなどの工夫をすることで、地域の負担は減るのではないか。
- 観光圏が取組を報告するだけでなく、地域間で切磋琢磨する機会があるとよい。報告の枠組みがあるのであれば、プレゼンテーション大会のようなものをやっていてもよいのではないか。目標達成に向けてどうしたらよいかを議論しあう場があるとよい。

## 「観光圏の機能強化の目指す方向と対応方針」について

- 地域ブランドの確立・磨き上げについて、見直しが必要な地域があるため、見直しという文言を入れてほしい。
- 最終的にはブランドコンセプトに基づく 2 泊 3 日が目標となるので、地域ブランドの見直し後に、地域ブランドに即したコンテンツを作り、2 泊 3 日のモデルプランを分かりやすく出すようにしてほしい。
- 今回の議論結果をまとめた後に、少なくとも来年度か再来年度までは、とりまとめた内容が機能しているか有識者会議の場でチェックする必要があるのではないか。
- チェック体制の強化を観光庁にお願いしたい。現状では報告を出すだけになっているため、フィードバックをいただき、それを基に地域が議論する仕組みがあるとよいのではないか。